

# Dell PowerConnect W-IAP100 Series Instant アクセスポイント

## 設置ガイド

Dell PowerConnect W-IAP104 および W-IAP105 ワイヤレスアクセスポイントは、IEEE 802.11n 標準の高パフォーマンス WLAN をサポートします。このアクセスポイントは、MIMO (Multiple-Input, Multiple-Output) テクノロジーおよび他の高スループットモード技法を使用して、高パフォーマンスの 802.11n 2.4 GHz および 5 GHz 機能を提供すると同時に、既存の 802.11a/b/g ワイヤレスサービスをサポートします。

Dell PowerConnect W-IAP100 Series アクセスポイントは、以下の機能を提供します。

- ワイヤレストランシーバ
- プロトコルに依存しないネットワーク機能
- IEEE 802.11a/b/g/n (ワイヤレスアクセスポイント)
- IEEE 802.11a/b/g/n (ワイヤレス空気モニター)
- IEEE 802.3af PoE との互換性
- Dell PowerConnect W-Instant 仮想コントローラを介した一元管理設定およびアップグレード

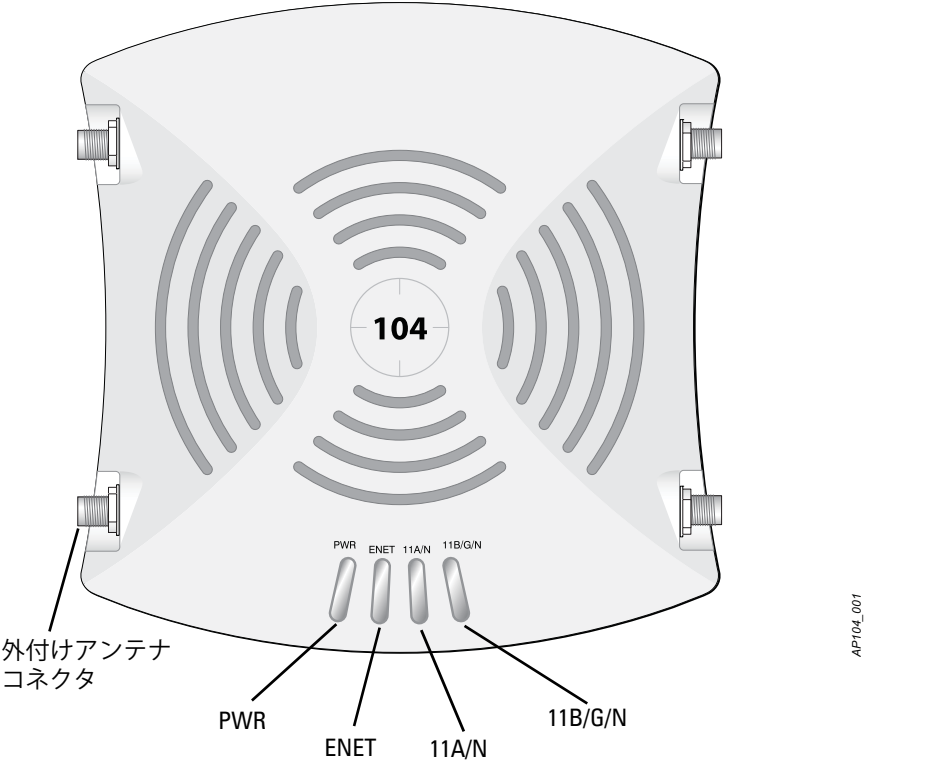
### パッケージの内容

- W-IAP104 または W-IAP105 アクセスポイント
- 設置ガイド (本書)
- Dell PowerConnect W-Instant クイックスタートガイド
- 『Dell PowerConnect W-Series Safety, Environmental, and Regulatory Information』ドキュメント

**メモ:** 内容が違っている場合、不足している場合、または破損している場合は、サプライヤに連絡してください。必要な場合は、元の梱包資材および箱を使用して (可能な場合) パッケージを梱包し、サプライヤに返送してください。

### W-IAP100 Series ハードウェアの概要

図 1 W-IAP100 Series の前面 (W-IAP104 の例)



#### LED

W-IAP100 Series には、IAP のさまざまなコンポーネントのステータスを示す 4 つの LED があります。

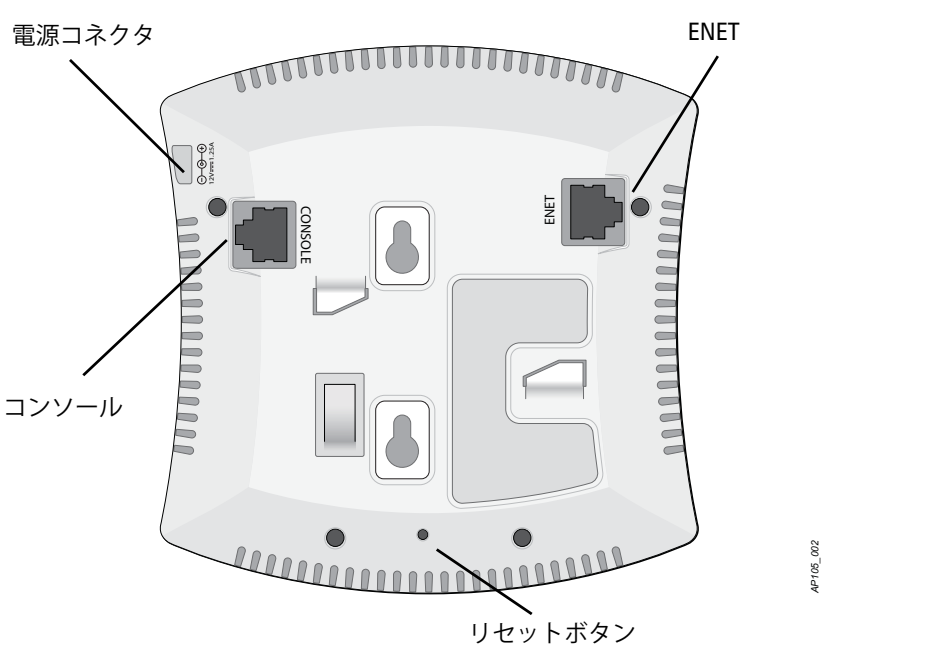
- PWR: W-IAP100 Series に電源が投入されているかどうかを示します。
- ENET: W-IAP100 Series のイーサネットポートのステータスを示します。
- 11A/N: 802.11a/n ラジオのステータスを示します。
- 11B/G/N: 802.11b/g/n ラジオのステータスを示します

W-IAP100 Series の LED の動作の詳細については、[表 1 \(2 ページ\)](#) を参照してください。

#### 外付けアンテナコネクタ

W-IAP104 は、外付けアンテナを取り付けて使用するよう設計されており、外付けアンテナ用コネクタが 4 つ装備されています。W-IAP105 には内蔵アンテナが搭載されています。

図 2 W-IAP100 Series の背面



#### コンソールポート

コンソールポートを使用してターミナルに接続し、ローカル管理を直接実行します。

#### イーサネットポート

W-IAP100 Series には、10/100/1000Base-T (RJ-45) 自動検出 MDI/MDX 有線ネットワーク接続ポートが 1 つ装備されています。IEEE 802.3af Power over Ethernet (PoE) をサポートしています。このポートでは、PoE Midspan インジェクタなどの給電装置 (PSE) または PoE をサポートするネットワークインフラストラクチャからの DC 48V を標準の定義済み Powered Device (PD) として受け入れます。

#### DC 電源ソケット

PoE が使用できない場合、オプションの Dell 電源アダプタキット (別売) を使用して W-IAP100 Series に給電できます。

#### リセットボタン

リセットボタンを使用すると、IAP を出荷時の設定に戻すことができます。IAP をリセットするには、次の操作を行います。

- IAP の電源をオフにします。
- クリップの先などの細くとがったものでリセットボタンを押したままにします。
- リセットボタンを押したまま IAP の電源をオンにします。5 秒以内に電源 LED が点滅します。
- リセットボタンを放します。

リセットが完了すると、15 秒以内に電源 LED ボタンが再度点滅します。その後 IAP が再起動して、出荷時の設定に戻ります。

**メモ:** W-IAP100 Series をコントローラ管理のキャンパス AP に変換した場合、デバイスをリセットすると、再度変換されて出荷時のデフォルト IAP に戻ります。

### 始める前に

**注意:** FCC の声明: 米国以外のモデルのコントローラに設定されたアクセスポイントを米国内で設置すると、機器承認に関する FCC 規制に違反することになります。そのような意図的な違反を行った場合、運用の中断が FCC によって要求され、罰金が適用されることがあります (47 CFR 1.80)。

**注意:** EU の声明: 2.4 GHz および 5 GHz 帯域幅で運用する低電力無線 LAN 製品。制限の詳細については、『Dell PowerConnect W-Instant ユーザーガイド』を参照してください。Produit réseau local radio basse puissance operant dans la bande fréquence 2.4 GHz et 5 GHz. Merci de vous référer au *Dell PowerConnect W-Instant User Guide* pour les détails des restrictions.. Low Power FunkLAN Produkt, das im 2.4 GHz und im 5 GHz Band arbeitet. Weitere Informationen bezüglich Einschränkungen finden Sie im *Dell PowerConnect W-Instant User Guide*. Apparat Radio LAN a bassa Potenza, operanti a 2.4 GHz e 5 GHz. Fare riferimento alla *Dell PowerConnect W-Instant User Guide* per avere informazioni dettagliate sulle restrizioni.

### IAP 設置前のチェックリスト

W-IAP100 Series IAP を設置する前に、以下のコンポーネントが揃っていることを確認してください。

- 必要な長さの CAT5 UTP ケーブル
- 以下のいずれかの電源装置
  - IEEE 802.3af 対応の Power over Ethernet (PoE)
  - POE は、任意の給電装置 (PSE) コントローラまたは Midspan の PSE デバイス
  - Dell 電源アダプタキット (別売)

### セットアッププロセスのまとめ

以下の 5 つの手順に従い、W-IAP100 Series アクセスポイントをセットアップします。

- 設置前の接続を確認します。
- 各 IAP の設置場所を特定します。
- 各 IAP を設置します。
- 設置後の接続を確認します。
- 各 IAP を設定します。

**メモ:** Dell は、政府の要求に基づき、権限のあるネットワーク管理者だけが設定を変更できるように W-IAP100 Series アクセスポイントを設計しています。IAP の設定の詳細については、『Dell PowerConnect W-Instant クイックスタートガイド』および『Dell PowerConnect W-Instant ユーザーガイド』を参照してください。

**注意:** アクセスポイントは無線伝送デバイスで、政府規制の対象となります。ネットワーク管理者は設定の責任を負い、アクセスポイントの運用は無線法の規制に準拠する必要があります。特に、アクセスポイントは、その使用場所に適したチャネル割り当てを使用する必要があります。

### 設置場所の特定

**注意:** RF 放射に関する声明: 本製品は、FCC RF 放射制限に準拠しています。本製品を 2.4 GHz および 5 GHz で運用する場合、放射体とユーザーの身体との距離は 35 cm (13.78 インチ) 以上にしてください。このトランスミッタは、その他のアンテナまたはトランスミッタと一緒に設置または運用しないでください。5.15 ~ 5.25 GHz の周波数で運用する場合、移動体衛星システムとの有害な干渉を軽減するために、このデバイスは室内での使用に制限されます。

W-IAP100 Series アクセスポイントは、壁または天井に取り付けることができます。Dell の RF Plan ソフトウェアアプリケーションによって生成される IAP 設置マップを使用して、適切な設置場所を決定してください。各設置場所は目的の対象領域の中心に可能な限り近く、障害物や明白な干渉源のない場所である必要があります。これらの RF 吸収材/反射材/干渉源は RF プロパゲーションに影響するので、計画フェーズで考慮に入れ、RF 計画で調整する必要があります。

#### 識別されていない既知の RF 吸収剤/反射材/干渉源

設置フェーズにおいて現場で既知の RF 吸収材、反射材、および干渉源を識別することが重要です。IAP を設置場所に固定する際は、これらの要因を考慮に入れてください。RF パフォーマンスを低下させる原因には以下のものがあります。

- セメントやブロック
- 水分を含む物体
- 金属
- 電子レンジ
- コードレスの電話やヘッドホン

### IAP の設置

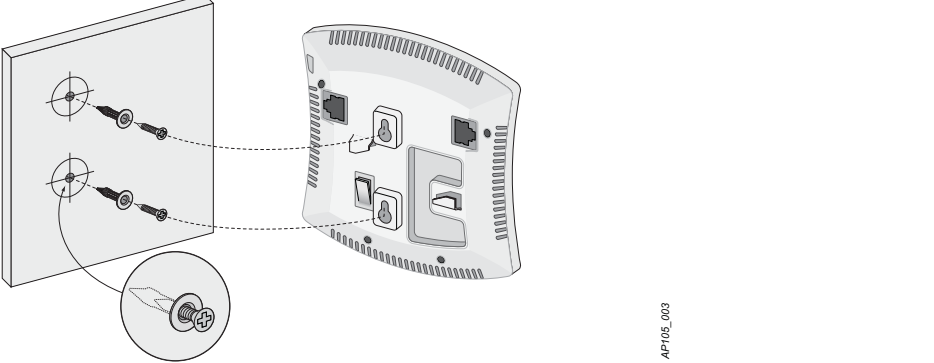
**注意:** Dell PowerConnect W-Series 製品の設置およびサービスは、トレーニングを受けたサービス担当者が実施する必要があります。

#### 一体型壁掛けスロットの使用

IAP の背面にある鍵穴型のスロットを使用して、デバイスを室内壁または棚に垂直に取り付けることができます。設置位置を選択する際は、ユニットの右側にケーブルを敷設するためのスペースがあることを確認してください。

- ポートはデバイスの背面にあるので、取り付け面に事前に穴を開けるなど、IAP のイーサネットポートへのアクセスを確認してください。
- 設置場所の壁または棚に 4.7 cm の間隔で 2 本のネジを取り付けます。デバイスを乾式壁に取り付ける場合、壁用の適切なアンカー (別売) を使用するをお勧めします。
- IAP の背面の取り付けスロットをネジに合わせて、ユニットを取り付けます ([図 3](#) を参照)。

図 3 壁面への W-IAP100 Series アクセスポイントの設置



#### 一体型天井タイルレールスロットの使用

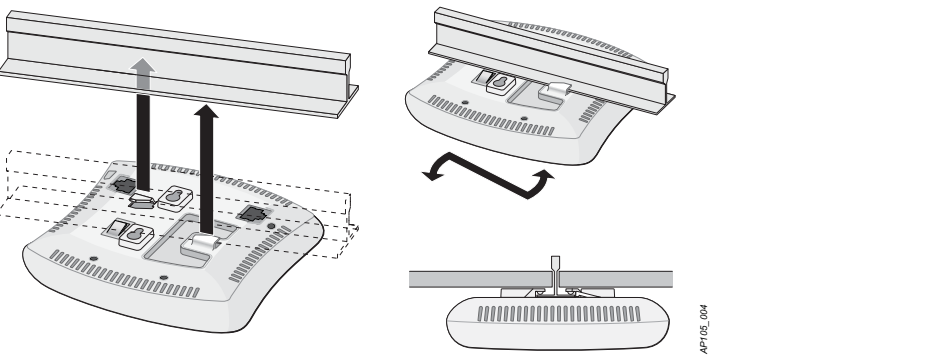
IAP の背面にあるスナップイン式のタイルレールスロットを使用して、15/16" 幅の標準の天井タイルレールにデバイスを直接取り付けることができます。

**注意:** デバイスを天井に取り付ける際は、IAP が天井タイルレールに確実に固定されることを確認してください。

- IAP の設置場所に穴を開けて必要なケーブルを敷設します。
- 必要に応じて、コンソールケーブルを IAP 背面のコンソールポートに接続します。

天井タイルレールに対して約 30 度の角度で IAP の取り付けスロットを合わせます ([図 4](#) を参照)。ケーブルは天井タイルの上でたるませます。

図 4 天井タイルレール取り付けスロットの向き



- 天井タイルに向かって IAP を時計回りに回転させ、デバイスを天井タイルレールに固定します。

#### 必要なケーブルの接続

該当する規制および慣習に従ってケーブルを設置します。

#### イーサネットポート

RJ45 イーサネットポート (ENET) は、10/100/1000Base-T 自動検出 MDI/MDX 接続をサポートします。最長 100 m の 4 線または 8 線のカテゴリ 5 UTP ケーブルを使用してください。

10/100/1000 Mbps イーサネットポートは IAP の背面にあります。ポートには、[図 5](#) に示す RJ-45 メスコネクタがあります。

